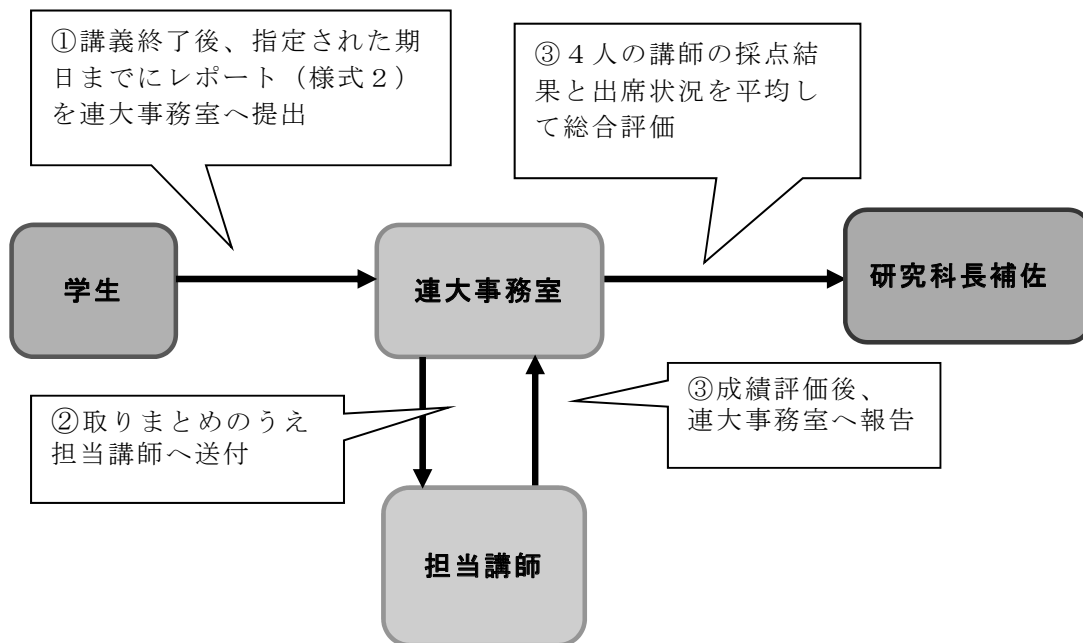


生物生産科学特論

研究科共通科目	1 単位
講義概要 (目標) 各構成大学の生物生産科学分野の講師 4 名が特色ある講義を行うことで、専攻分野の幅広い知識の修得を目指します。 (内容) 多点制御遠隔講義システムを利用して 2 日間の集中講義で行います。1 日に 2 人の講師が午前と午後に講義を行い、2 日間で 4 つの講義が提供されます。1 講義は 90 分×2 コマです。各構成大学で受講可能です。 講師及び講義タイトルが決定次第、連大ホームページ等を通じて連絡します。 ※平成 28 年度はこの講義を英語で行います。	
評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・当該年度に実施される 2 日間 4 回 (計 8 コマ分) の集中講義をすべて受講し、レポートを提出することで 1 単位が付与されます。 ・講義を担当した 4 人の教員から、別々にレポートの提出を求められます。履修者は期限までにレポートを作成し、添付ファイルで岩手連大事務室に直接レポートを提出してください。 ・成績の評価は、出席状況と 4 人の講師のレポートの採点結果を平均して総合評価を行います。 	
講義履修上の注意事項 複数の専攻の特論をあわせて計 8 コマ分 (たとえば生物生産科学特論 2 回、生物資源科学特論 2 回) 受講しても単位認定されません。また、年度をまたがって科目を受講しても単位認定されませんので注意してください。	

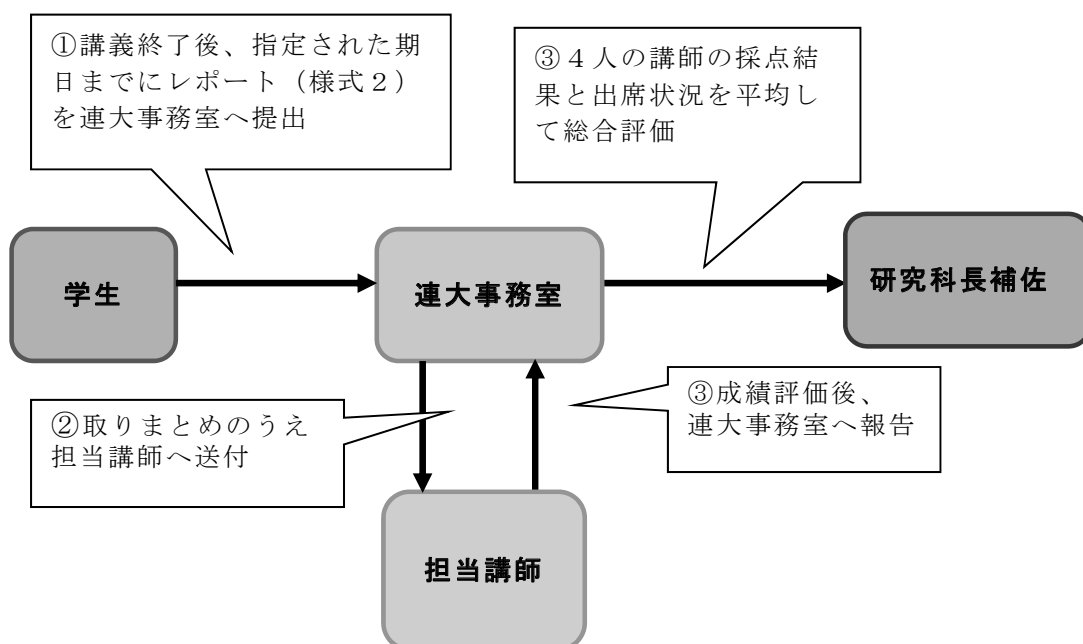
生物生産科学特論終了後の流れ



生物資源科学特論

研究科共通科目	1 単位
講義概要 (目標) 各構成大学の生物資源科学分野及び寒冷圏生命システム学分野の講師4名が特色ある講義を行うことで、専攻分野の幅広い知識の修得を目指します。 (内容) 多地点制御遠隔講義システムを利用して2日間の集中講義で行います。1日に2人の講師が午前と午後に講義を行い、2日間で4つの講義が提供されます。1講義は90分×2コマです。各構成大学で受講可能です。 講師及び講義タイトルが決定次第、連大ホームページ等を通じて連絡します。 ※平成29年度はこの講義を英語で行います。	
評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・当該年度に実施される2日間4回(計8コマ分)の集中講義をすべて受講し、レポートを提出することで1単位が付与されます。 ・講義を担当した4人の教員から、別々にレポートの提出を求められます。履修者は期限までにレポートを作成し、添付ファイルで各講師にレポートを提出してください。 ・成績の評価は、出席状況と4人の講師のレポートの採点結果を平均して総合評価を行います。 	
講義履修上の注意事項 複数の専攻の特論をあわせて計8コマ分(たとえば生物生産科学特論2回、生物資源科学特論2回)受講しても単位認定されません。また、年度をまたがって科目を受講しても単位認定されませんので注意してください。	

生物資源科学特論終了後の流れ



生物環境科学特論

研究科共通科目	1 単位
講義概要 (目標) 各構成大学の生物環境科学分野の講師 4 名が特色ある講義を行うことで、専攻分野の幅広い知識の修得を目指します。 (内容) 多地点制御遠隔講義システムを利用して 2 日間の集中講義で行います。1 日に 2 人の講師が午前と午後に講義を行い、2 日間で 4 つの講義が提供されます。1 講義は 90 分×2 コマです。各構成大学で受講可能です。 講師及び講義タイトルが決定次第、連大ホームページ等を通じて連絡します。 ※平成 30 年度はこの講義を英語で行います。	
評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・当該年度に実施される 2 日間 4 回 (計 8 コマ分) の集中講義をすべて受講し、レポートを提出することで 1 単位が付与されます。 ・講義を担当した 4 人の教員から、別々にレポートの提出を求められます。履修者は期限までにレポートを作成し、添付ファイルで各講師にレポートを提出してください。 ・成績の評価は、出席状況と 4 人の講師のレポートの採点結果を平均して総合評価を行います。 	
講義履修上の注意事項 複数の専攻の特論をあわせて計 8 コマ分 (たとえば生物生産科学特論 2 回、生物資源科学特論 2 回) 受講しても単位認定されません。また、年度をまたがって科目を受講しても単位認定されませんので注意してください。	

生物環境科学特論終了後の流れ

